

独創性を拓く 先端技術大賞

[トップページ](#)
[先端技術大賞とは](#)
[審査・応募について](#)
[受賞者紹介](#)
[協賛について](#)
[関連情報](#)
[お問い合わせ](#)

「独創性を拓く 先端技術大賞」とは？

先端技術大賞表彰制度の趣旨・目的

「科学技術創造立国」の実現に向け、優れた研究開発成果をあげた全国の理工系学生と企業の若手研究者、技術者を表彰する制度です。理工系の学生の研究意欲を高めることを目的に、1986年に創設した「独創性を拓く 先端技術学生論文」を改め、企業の若手研究者も表彰対象に加えました。「学生部門」「企業・産学部門」の2部門で募集します。2009年の「第23回独創性を拓く 先端技術大賞」授賞式・レセプションは7月、高円宮妃殿下のご臨席のもと、東京都内で開催する予定です。

概要

制度概要(申請中含む)

催事名称	第24回 独創性を拓く 先端技術大賞
後援(申請中含む)	文部科学省 経済産業省 フジテレビジョン 産経新聞社 ニッポン放送
表彰内容	<p>《企業・産学部門》</p> <p>最優秀賞： 経済産業大臣賞 副賞(研究奨励金)</p> <p>優 秀 賞： 産経新聞社賞、フジサンケイ ビジネスアイ賞 副賞(研究奨励金)</p> <p>特別賞： 副賞(研究奨励金)</p> <p>《学 生 部 門》</p> <p>最優秀賞： 文部科学大臣賞 副賞(研究奨励金)</p> <p>優 秀 賞： フジテレビジョン賞、ニッポン放送賞 副賞(研究奨励金)</p> <p>特別賞： 副賞(研究奨励金)※主に高等専門学校生を対象</p> <p>《先端技術研究奨励金》</p> <p>最優秀賞と優秀賞の指導教官(学生部門対象)</p>
募集期間	2009年12月10日～2010年3月31日(水)必着
審 査	「審査委員会」が行う
発 表	2010年6月 (フジサンケイ ビジネスアイ、産経新聞、サンケイスポーツ)に掲載予定
表彰式	2010年7月28日(水)

制度運営等の組織

審査委員会	大学教授、企業の研究開発役員
表彰制度委員会	文部科学省、経済産業省、フジサンケイ ビジネスアイ、フジサンケイグループ関係者
交流組織	「新時代を拓く 創造技術21の会」(受賞者、審査委員が参加)

審査委員会(依頼中含む)

審査委員長	阿部博之 東北大学名誉教授
審査委員&審査分野	<p>《学生部門》</p> <p>〈エレクトロニクス・情報〉</p> <p>辻井 重男 情報セキュリティ大学院大学</p> <p>伊藤 精彦 北海道大学名誉教授</p> <p>中村 孝夫 山形大学大学院 教授</p> <p>〈バイオサンエンス・バイオテクノロジー〉</p>

原田宏 筑波大学 名誉教授 バイオインダストリー協会会長
軽部征夫 東京工科大学 学長
柳田敏雄 大阪大学大学院 教授

〈材 料〉

斎藤省吾 九州大学 名誉教授
桑原誠 九州大学大学院 教授
増本健 東北大学 名誉教授
曾我直弘 滋賀県立大学 理事長 学長

《企業・産学部門》

〈エレクトロニクス・情報〉

桑原洋 日立マクセル株式会社 相談役
田井一郎 株式会社東芝 取締役 副社長執行役

〈バイオサンエンス・バイオテクノロジー〉

倉根隆一郎 中部大学 教授

〈材 料〉

小島彰 社団法人日本鉄鋼協会 専務理事

〈ノンセクション〉

高津浩明 東京電力株式会社 執行役員 技術開発副本部長

独創性を拓く 先端技術大賞

[トップページ](#)
[先端技術大賞とは](#)
[審査・応募について](#)
[受賞者紹介](#)
[協賛について](#)
[関連情報](#)
[お問い合わせ](#)

募集要項

募集対象

企業・産学部門	2009年度に発表した企業や産学連携の研究開発成果(近い将来の実用化を見据えた技術論文、新製品など)で、研究者、研究グループ代表者の年齢がおおむね40歳以下の若手研究者、技術者
学生部門	国・公・私立大学の学生、大学院生、工業高等専門学校生およびこれらの学生グループ。留学生も可

募集分野 (下記から1分野を選択、テーマは自由)

A	エレクトロニクス・情報
B	バイオ、生体・医療、医薬、食品
C	材料
D	環境・エネルギー
E	一般工学(機械・土木など)
F	ノンセクション(上記A～Eの複数領域にまたがるか、この領域外のテーマ。)

内容 (下記のどちらかを選択)

技術論文	日本語で書いた未発表の科学技術論文で将来へ夢をかけた独創性、創造性あふれる論文。字数は8,000字以内(部分的に学会誌などに発表したものは可。ただし発表先を明記。図表、謝辞は字数に含まない)
新製品	技術内容を5,000字以内でまとめたもの。ニュースリリース、カタログ中心の応募は不可

※ 応募論文は返却しません。

※ 提出期限を過ぎたもの、募集規程に沿っていない場合は事務局、審査委員会で審議の上、審査対象から除外する場合があります。

※ 入賞作品はフジサンケイ ビジネスアイ紙または弊社が発行する印刷物に掲載予定。

※ 入賞作品の著作権はフジサンケイ ビジネスアイに帰属するので、学会誌・業界誌に投稿した作品をそのまま用いることはできません。一般の新聞読者も一定の理解ができることを考慮して文章化してください。ただし、専門用語を排除するものではありません。

審査基準

企業・産学部門	独創性、新規性、潜在的可能性、市場性(市場に出したいという強い意志でも可)などの観点から審査
学生部門	独創性、先端性、論文構成力などの観点から審査。学生らしさも評価の対象。

応募方法

下記の内容を事務局宛にご送付下さい。平成22年3月31日必着。

①論文	A4用紙にプリントアウトしたもの(画像データ含む) ※書き出しには必ず「論文タイトル」と「氏名、所属」を記入し、諸言(序論)から始めて下さい。 ※図表はできるだけ1ページに2点以上収納してください。 ※手書き原稿は不可
②応募用紙	応募用紙をダウンロードして各項目を明記してください。 ≪企業、産学部門≫  (応募用紙_oubo1.xls) ≪学生部門≫  ((応募用紙_oubo2.xls))
③FD、MO、CD-Rなど	①の元データ(ワード、テキスト形式)と、①のPDFを保存したもの ②の元データ

【問い合わせ先】

〒100-8125

東京都千代田区大手町1-7-2

フジサンケイビジネスアイ 先端技術大賞事務局

電話:03-3273-6102 FAX:03-3273-6124

sentan@business-i.jp

Fuji Sankei Business i.
Copyright (C) 2006